



●ガバナー 長嶺 康廣 ● 会長 吉田 立盛 ● 幹事 平光 清美 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2014 回 例会 記録

《IM 発表例会》
2017 年 3 月 16 日 (木)
点鐘 12：30
レポート No. 1446



清川副 S A A

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《会長要件》吉田立盛会長



今日は IM の報告例会です。IM に参加していただいた皆さんから IM の報告をしていただきますのでよろしくお願い致します。先日例会変更でお知らせしましたが5月21日(日)にカワヨグリーン牧場で親睦を兼ねたパークゴルフ大会を企画しておりますので皆さんのご参加をお待ちしています。送迎バスは 20 名いないと出してもらえませんのでたくさんの方の参加をお願いします。当日はパークゴルフの後にバーベキューで皆さんと親睦を深めたいと思っています。昨年、伊藤年度でも大野キャンパスでパークゴルフ大会をやりましたが、すごく盛り上がり楽しかった印象があります。ゴルフをやる方もやらない方もパークゴルフなら楽しめると思いますのでよろしくお願い致します。

先ほど韓国の前年度会長の咸さんから私のラインに連絡があり次年度の会長は誰ですかという問い合わせがありましたので、隣に座っている米内エレクトの写真を撮ってすぐに返信しました。リアルタイムで韓国の方とやり取りが出来る便利さをすごく感じています。

《幹事報告》平光幹事

- ・中グループより IM の案内が届いています。4 月 22 日 (土) 青森国際ホテルです。
- ・ハイライト米山とサイクルアイが届いています。
- ・2017 年度 RI 国際大会アトランタの案内が旅行会社から届いています。
- ・4 月 13 日の創立記念例会と 4 月 20 日のお花見例会の出欠表を回しています。



《ニコニコボックス》西尾委員

平光幹事：IM 参加の皆様、よろしくお願い致します。

鈴木会員：春めいてきました。

奥様誕生日：松田会員



《出席報告》原委員長



正会員数 41 名。本日の出席は免除会員 6 名を含む 27 名。出席率は 71% です。前々回の例会は、ロータリークラブ組織運営委員会担当例会で出席率 73% でした。

《IM 報告》平光幹事



各クラブの幹事が受付をしますので少し早めに行きましたところ、前からお話のありました財団 100 周年記念の川柳の投票箱が置いてあり、自分のいいと思った川柳に 500 円以上の寄付をすると記念のバッチをいただけるようになっていました。南クラブでは前もって会長が発表していたものですから、並んでいる川柳の中でどれが南クラブのものかわかりましたが、公平に選んで入れようか、クラブのものに入れようか悩みましたが誰が見ているかもわからないのでクラブのものに入れました。会長が投票するのに大きいお金しかなくフロントで両替をしていましたが、そこは両替をせずに入れたらと言ったのですが、両替した中から入れた結果 3 位でした。両替せずに入れば 1 位になっていました。1 位になったクラブは隣で受付をしていましたが、会員にクラブの川柳の番号を伝えて投票を呼び掛けていました。私もそれくらいの気遣いをすればよかったなと思いました。

受付終了後仕事に戻り、IM には、懇親会の途中からの参加になりましたのでこのような報告になりました。

《吉田立盛会長》

IM のテーマはロータリーの未来を語ろうだったと思いますが、今回 RI の規定が緩和されて各クラブの柔軟性が認められたことについて皆で話し合いましたということだったと思います。前橋ロータリークラブの本田様に講師として来ていただいたのですが、北山 PG の同期のガバナーというお話をされていました。前橋ロータリー



クラブについてネットで調べてみましたら、昭和 28 年創立で歴史のあるクラブです。会員数は 35 名でうちのクラブの方が少し大きいかないと、やはり会員増強がロータリーの未来を創るには大変大事だとお話しされていました。IM の私の印象は、何といたっても自分の川柳が 3 位入賞したことです、先ほど幹事が言っていたように 1 万円入れておけばよかったなと思っています。

《米内会長エレクト》



今、平光幹事から川柳の話を書くまでそのシーンを思い出せないうでいました。川柳の話をしていただいて助かりました。私はなかなか色々な会合に出られないので IM も何回目かなのですが、次年度の会長を仰せつかったせいなのか、しっかりと聞いていたところ、お話をさせていただいた本田さん、そして周りの方々が熱い思いで聞いていることがよくわかりました。内容についても私たちのクラブは規定審議委員会という他にはない委員会を持っているので、他のクラブの方よりもわかる部分が多かったように感じました。伊藤さんの質問も、私たちのクラブの会員が疑問に思っているようなことであり、黒田先生のおっしゃられたことも大変為になりました。

《伊藤直前会長》

IM に参加しての感想ですが、やはりこういう会には出るべきだと思えました。毎週クラブの皆さんとは顔を合わせてお話ができますが、IM はじめ地区研修・協議会、地区大会、合同例会などほかのクラブの方々と一緒にすることにより、いろんな刺激がありますし、ロータリーって何だろうと改めて考えることが出来る場だと思えました。今回の IM では各クラブから質問をしてくださいと依頼があり、私がやることになっていて準備はしていましたが、いざ参加してみまして、お話の中にロータリーの向かう所というものがありましたので、今後、ロータリーはどうゆう方向に向かうかという質問をしたら、あなたはどう思いますかと言われて答えに詰まってしまいましたので、講師の本田先生がロータリーの友 1 月号に書いている職業奉仕について、先輩会員から聞いたことなどを絡めて聞いてみたのですが、あまり明確なお答えは聞けなかったように思いました。



《熊谷会員》



私は角度を変えた視点で、IM の進行についてお話しします。IM はガバナー補佐が主催して行いますが、さすが源新さんと感心しました。源新さんが表立っていますが周りの方々の結束があってああいう大きな会が成功したのではないかと思います。私は非力な地区幹事長でございまして、私の周りに伊藤さんはじめ皆さんスタッフがいて、今までいろいろとやってきましたが、その経験から IM を見させていただき感心して参

加させていただきました。

テーマはこれからのロータリー、私もどちらかと言いますと保守派であり大きな変化は望まない方です。極端な話をすれば月 2 回の例会ではロータリーじゃないよという気持ちはありますが、世の中なんでも時代とともに、言葉が変わる、文化が変わる、風習が変わる、これはしょうがないのかなと思っはいます。ただ、あまり若い人たちに迎合して変えるのはいかなものかと思っています。ロータリーの骨子は守っていければいいなと思っはいます。、変わるについて一つお話しします。「はい」という返事がありますがこれは江戸時代中期に派生した言葉だそうです。その前はなんと返事をしたかという「へい」だったそうです。今の時代に朝の朝礼で社長が皆さん頑張らましようと言っはのに対して「へい」て言っはらおかしいですよね。これも時代とともに変わったことなんだと思っはしました。ある程度の変化も必要でしょうが骨子はちゃんと守って進んでいければいいなと思っはいます。

《大橋会員》



規定審議会で柔軟性が認められたというお話でしたが、私も 2 回では足りないと思う派です。講師さんが言うにはいきなり変わったのではなく 2004 年とか 2006 年から繰り返し、繰り返し、何度も何度も議論して決まっはことのでいきなりガラッと変わったのではないんだよということでした。発言しないで決まっはことに文句を言うのは筋地違いだということも言っはしていました。自分の意見があるのだったら、しっかりと述べて変えることをやめさせる意見を言いなさいとも仰っはしていました。

《西尾会員》

初めて IM に参加させていただきました。率直なところ話がピンと来なかつたというのが正直なところですが、そもそも国際ロータリーの組織がよくわかつたないので、国際ロータリーの理事会、規定審議会というのでもどこで決まっはのかよくわからないイメージで話を聞いていたので、もうちょっとロータリーのことを勉強したいなと思っはしました。一番印象に残ったのは、講師の人も自分たちで規定を変えるという意見を上に上げて、それが実際に変わってきたんだということだったので、自分たちの進む方向というか、そういう意見を話し合っはってロータリーを変えていけるんだというようなことを考えていかなければと思っはました。



《長嶺ガバナー》

西尾さんと大橋さんは初めて IM に参加したのかな、素直に感じていて素晴らしいなと思っはしました。IM の本田さんの話は、規定審議に皆さんからどんどん意見を出して、自分たちがこういうロータリーの方向に進みたいという意見が世界に受け入れられるか、受け入れないかは別



として規定審議に自分たちの立法案を出していきましようということだと思ふのです。今までうちの地区は会員数が 1,100 人とか 1,200 人で秋田と合併するかどうかというときに立法案を出しましたが、それくらいしかありません。規定審議会に立法案を出すのはクラブでもできますし、地区でもできますので、どんどん自分たちの意見を世界に向けて発信する、それが世界に於いて多数決で決まってしまうので自分たちの意見が世界に通るかどうかはわかりませんが、自分たちはこういうロータリーを目指すんだという意見をどんどん出していくべきだと思います。そういった立法案を出すにはロータリーのことを勉強しないと出せないと思います。これからみんなで、クラブでロータリーのことを勉強しながら

ら規定審議会にも立法案を出せるように力を蓄えてやっていきたいと思ふます。

先ほど伊藤さんがロータリーの向かう所の回答を得たくて質問したという話でしたが、回答というのは自分たちのクラブの中にあると思ふます。自分たちのクラブがどういう方向にクラブを持っていきたいか、自分たちのクラブはこういった奉仕活動をしたか、こういう職業奉仕をしたか、いろいろな意見があると思ふるので、皆さんで意見を出し合っこのうクラブにしたいんだという夢を語りながら皆さんで意見を出し合うことにより活性化すると思ふます。ですから自分たちが決めるというのが答えだと思ふます。